

〔講師紹介〕

中空繁登 氏 （一般社団法人三重県サッカー協会スポーツ医・科学委員会委員長）

所属先：鈴鹿回生病院整形外科

経歴：2002年～三重大学整形外科 2013年～鈴鹿回生病院整形外科

2017年～ヴィアティン三重サポートドクター

2018年～鈴鹿アンリミテッドFC チームドクター

特記：膝・足の外科医として、外来診療、手術を行い、スポーツ復帰に向けPT、ATと連携しながら選手と関わっている。現在は、三重県のメディカル体制の構築、人材の育成に励んでいる。

千賀佳幸 氏 （一般社団法人三重県サッカー協会スポーツ医・科学委員会副委員長）

所属先：三重大学附属病院整形外科

経歴：2017年～鈴鹿回生病院 2018年～県立総合医療センター

2018年－日本サッカー協会 NF Rep.

2018年～ヴィアティン三重チームドクター

特記：日本サッカー協会医科学委員、ヴィアティン三重チームドクターとして県内でサッカーの関係の仕事や国体帯同をこなすとともに、日本サッカー協会の仕事として、JFAクラブタウン・中体連キャンプ、フットボールフューチャープログラムトレセン研修会 U12などに帯同。また、NF Rep.としてJリーグ、Fリーグにおいて従事。現在は、三重大学整形外科教室スポーツ整形外科講座で、足に関する疫学研究、腱損傷に対する自己血液製剤の基礎研究に従事しながら、県下のメディ

カル体制の構築に尽力。

大榎良則 氏(おおえのきトータルヘルスケア代表取締役、一般社団法人日本柔整外傷協会理事)

所属先：おおえのきトータルハウスケア

経歴：四日市の救急指定地域中核病院リハビリ科所属で10年勤務し、外傷措置・治療・リハビリ・地域連携を学び、神戸市の脊椎専門治療院へ3年勤務後鈴鹿市にて鍼灸接骨院を開業。

特記：鈴鹿アンリミテッドFCの専属トレーナー。

一般社団法人日本柔整外傷協会を設立して、全国に500名以上の柔道整復師へ外傷専門勉強会ギブス塾(半年間)を卒業させて、怪我にしっかり対応できる柔整師を輩出している。

奥村 正樹 氏 (Physiotherapist)

取得ライセンス：鍼灸師/AT

経歴：2014年 オーストラリアンフットボール日本代表トレーナー

2015-2017年 Weald Stone FC(英国:セミプロサッカーチーム Physio)

2017年 Bangrajin FC (タイ:プロサッカーチームトレーナー)

特記：整形外科と接骨院にて約5年間勤務し、スポーツ選手(主にサッカー選手)のコンディショニング、怪我予防プログラムの作成、応急処置業務、治療と運動療法の処方、と幅広く経験し外相措置及び治療を学び、渡英。現在、日本国内でフリーランスとして活動し、地元神奈川県にて活躍。